答え 6月16日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



和菓子の日にちなんで「和菓子クイズ」

【第1問】金平糖（こんぺいとう）は、どこの国から伝わったお菓子でしょう？

① 中国　② ポルトガル　③ アメリカ

戦国時代にポルトガルから伝わった南蛮菓子です。ポルトガル語の「コンフェイト」がなまって、コンペイトウになりました。漢字は当て字です。

【第2問】ごはんを半分つぶすことから「半殺し」とも呼ばれる和菓子は？

① おはぎ　② だんご　③ ようかん

もち米を半分くらいつぶして作るので、地方によっては「半殺し」と呼びます。こわい名前ですが、作り方を表した言葉です。

【第3問】春のお彼岸に食べる「ぼたもち」の名前は、何の花から？

① 梅　② 桜　③ 牡丹（ぼたん）

春は牡丹の花にちなんで「ぼたもち」、秋は萩（はぎ）の花にちなんで「おはぎ」と呼ぶといわれます。同じお菓子でも、季節で名前が変わるのですね。

【第4問】京都で6月30日に食べる、三角形の和菓子は何でしょう？

① 若鮎（わかあゆ）　② 水無月（みなづき）　③ ちまき

白いういろうの上に小豆をのせた三角のお菓子です。半年のけがれをはらう「夏越（なごし）の祓（はらえ）」の日に、残り半年の無事を願って食べます。

【第5問】練りようかんを固めるのに使うものは、次のうちどれでしょう？

① 卵　② 片栗粉　③ 寒天

あずきのあんに寒天と砂糖を加えて、じっくり練り上げます。寒天は、テングサという海藻から作られます。

【第6問】和菓子の日は、昔の「嘉祥（かじょう）」という行事にちなみます。何をした日？

① お菓子を食べて健康を願う　② 米の豊作を祝う　③ 雨ごいをする

6月16日に、お菓子やおもちを食べて、厄よけと健康を願う行事でした。江戸時代には、将軍が家来たちにお菓子を配ったといわれます。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場

プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます